

静岡県月例経済報告

(令和7年10月号)

……令和7年8月を中心とした県内経済のすがた……

No. 594

— 静岡県経済産業部 —

経営課題解決に必要な
人材確保をご支援します

生産性向上

販路拡大

経営管理

事業分野拡張

工場ラインを
もっと効率化
したい

作業を効率化して
社員の残業を
減らしたい

海外進出
したい

商品をwebでも
販売できる
ようにしたい

バックオフィスを
充実させたい

新商品を
開発したい

社長の
相談相手が
欲しい

 SHIZ-PRO

静岡県プロフェッショナル人材戦略拠点

静岡県プロフェッショナル人材戦略拠点ホームページ公開中です

URL <https://pro-shizuoka.com>

詳細はこちらをご参照ください



目 次

I	静岡県経済の概況	1
II	静岡県主要経済指標の概況	7
・需要面	7	
・生産面	15	
・雇用面	17	
・その他	20	
III	静岡県主要産業の動向	24
IV	データからみた県内主要産業	27

利 用 に あ た つ て

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によつては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL)

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/keizaisangyo/tokeishiryo/getsureihokoku/index.html>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和7年8月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

令和7年8月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要である。また、雇用・所得環境や海外経済、金利・為替の動向等に十分注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる。

- ・個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、緩やかに増加している。
- ・設備投資は、製造業を中心に増加している。
- ・輸出は、弱い動きとなっている。
- ・生産は、横ばいとなっている。

(下線部は前月からの変更箇所)

需要面

「個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、緩やかに増加している」

大型小売店販売額(8月)は、百貨店が4か月ぶり、スーパーが10か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも10か月連続で前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(8月)は、ドラッグストアが52か月ぶり、ホームセンターが2か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店が2か月ぶり、コンビニエンスストアが6か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(8月)は、乗用車、軽自動車がいずれも2か月連続で前年実績を下回ったため、総数でも2か月連続で前年実績を下回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(8月)は、貸家が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、分譲住宅が2か月ぶり、持家が5か月連続で前年実績を下回ったため、総数でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額(8月)は、3か月ぶりに前年実績を下回った。

「設備投資は、製造業を中心に増加している」

日銀短観(6月調査)の令和7年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(8月)は、2か月ぶりに前年実績を下回った。

「輸出は、弱い動きとなっている」

「輸入は、前年を下回った」

輸出総額(8月)は、自動車の部分品、二輪自動車類がいずれも2か月ぶり、原動機が3か月連続で前年実績を上回ったものの、エアコンが3か月連続、自動車が8か月連続、科学光学機器が13か月連続で前年実績を下回ったため、総額でも8か月連続で前年実績を下回った。

また、輸入総額(8月)は、魚介類及び同調製品、木材、自動車の部分品がいずれも2か月ぶり、パルプ、原動機がいずれも4か月ぶりに前年実績を上回ったものの、紙類及び同製品が4か月連続で前年実績を下回ったため、総額でも4か月ぶりに前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、924億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、横ばいとなっている」

鉱工業生産指数(8月)は、電気機械が12か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械が2か月連続、輸送機械が13か月連続、化学が8か月連続、パルプ・紙・紙加工品が4か月連続、食料品・たばこが5か月連続で前年水準を下回ったため、総合でも2か月連続で前年水準を下回った。なお、前月比は3か月ぶりに増加した。

鉱工業在庫指数は、総合では9か月連続で前年水準を下回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる」

有効求人倍率(8月)は1.05倍となり、前月と同水準だった。55か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.15ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員(8月)は、3か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数(7月)は前年実績と同水準だった。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高(8月)は、前年同月比 1.8%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額(8月)は、前年同月比 41.4%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数は前年を上回り、負債総額は前年を上回った」

企業倒産(8月)は、件数は17件(前年同月比 41.7%増)と前年実績を上回り、負債総額は2,832百万円(同 39.6%増)と前年実績を上回った。

＜トピックス＞

静岡県は パートナーシップ構築宣言 を促進しています

県では、**適切な価格転嫁の機運醸成や取引適正化**に向けて、令和5年6月7日に産官労の13団体で「パートナーシップ構築宣言の普及・促進と実効性向上に向けた共同宣言」を行い、参画団体が連携して取組を進めてきました。この取組をより一層推進するため、令和7年9月9日、新たに金融2団体が参画し、内容を拡充した共同宣言(裏面)を発出しました。

パートナーシップ構築宣言とは

「パートナーシップ構築宣言」は、サプライチェーンの取引先や付加価値向上を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築することを、「発注者」側の立場から企業の代表者の名前で宣言するものです。



▲ 共同宣言式の様子（令和7年9月9日）

パートナーシップ構築宣言登録数 (R7. 9. 30時点)

全国
6位

県内

3, 921社

全国

78, 749社

優遇措置・メリット

パートナーシップ構築宣言を宣言・登録した企業は、以下のような優遇措置・メリットが受けられます！

- 県補助金の加点措置等
- 官公需における公契約条例に基づく優先発注
- 企業イメージの向上
- 取引先との信頼関係構築

登録後にお願いしたいこと

パートナーシップ構築宣言の登録後も、宣言の実効性向上のため、以下の取組をお願いします

- 社内外への宣言の周知
- 宣言内容の実行
- 定期的な宣言内容の見直し
- 代表者や担当者等、登録情報が変更になった場合の登録変更



静岡県「パートナーシップ構築宣言」ホームページ

静岡県 経済産業部 商工業局 商工振興課

TEL : 054-221-2128

URL : <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/1054361.html>



「パートナーシップ構築宣言」の登録はこちら

(公財)全国中小企業振興機関協会

TEL : 03-6228-3802

<https://www.biz-partnership.jp/>



＜トピックス＞

令和7年度 静岡県ロボット導入普及啓発事業

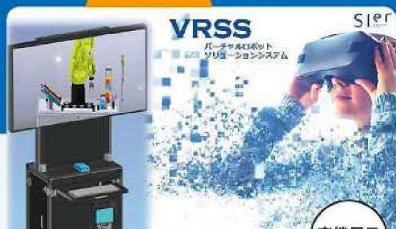


人手不足への対応策 ロボット導入セミナー

無料

定員
30名
先着順

人手不足対応策として期待されている、ロボットに関して
活用事例を交えてわかりやすく紹介します!! 実機展示あり。
実際にロボットに触れ、操作体験できます。



三明機工株式会社
自動化事例紹介とデジタルトレーナーの紹介



株式会社特電
導入しやすい産業用ロボット



株式会社ソミックトランクスフォーメーション
自動搬送ロボット「SUPPOT」

対象者



ロボットの導入を検討されている
中小企業の経営者、
生産技術や設備の担当者

日時

2025年11月10日(月)
15:00-17:40

場所

静岡市清水産業・情報プラザ 3階研修室
静岡市清水区相生町6-17

タイムスケジュール

15:00-15:30	ロボット導入を成功させるためのポイント	ふじのくにロボット 技術アドバイザー 窪寺 恒二
15:30-16:00	自動化事例紹介とデジタルトレーナーの紹介	三明機工株式会社
16:00-16:30	はじめてでも安心! 導入しやすい産業用ロボットOVR&URのご紹介	株式会社特電
16:30-17:00	自動搬送ロボット「SUPPOT」の紹介とその活用事例	株式会社ソミックトランクス フォーメーション
17:00-17:40	名刺交換会（交流会）	

申込URL

[https://www.robo-navi.com/
webroot/siersdayapplication/256.php](https://www.robo-navi.com/webroot/siersdayapplication/256.php)

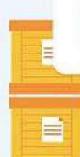


注意事項

- 静岡県内に事業所がある企業・団体様のみご参加いただけます。
- 駐車場は用意しておりません。車でご来場の方は近隣のコインパーキング等をご利用ください。



ふじのくにロボット技術アドバイザー
窪寺 恒二
ロボット導入を成功させる
ためのポイント



主催: 静岡県 共催: 静岡商工会議所/静岡市清水産業・情報プラザ
運営: (一社) 日本ロボットシステムインテグレータ協会 ☎ 03-6453-0131 ✉ sier@jara.jp



＜トピックス＞

静岡県の就職支援サイト



しづおか就職netは、静岡県が運営する就職支援サイトです。
静岡県内の企業情報を求職者にお届けします！

御登録いただくと



企業情報を
県内外の学生や求職者に発信



県や市町等が主催する
就職イベントへの参加募集や
セミナー情報を随時、メールでご案内

また、「静岡県移住・就業支援金」対象法人の認定にあたっては、
本サイトへの登録が必須要件となっております。
登録無料！ぜひご利用ください！

新規登録方法

ご登録は
こちらから



- 1 企業登録ページからメールアドレスを送信
(<https://www.koyou.pref.shizuoka.jp/employment/company/registration/>)
- 2 届いた「企業登録フォーム」のURLより、必要事項を入力の上、申請
※設定したパスワードは、ログイン時に必要となりますので、忘れないようメモをとるなどしてください。
- 3 県にて承認
- 4 IDが発行され、企業ログイン画面のURLとともにメール送付されます。
送付メールに記載のURLからログイン後、入力情報の編集及び公開処理
をしてください。

※県からのメールは、システムから自動送信されるため、通常、すぐに送信されます。
メールがお手元に届かない場合は、お手数ですが、下記問い合わせ先まで御連絡ください。

「移住・就業支援金制度」について

移住・就業支援金は、「しづおか就職net」に登録している企業のうち、市町の推薦、県の認定を受けた法人が、

移住・就業支援金対象の求人を「静岡県移住・就業支援金求人サイト」に登録し、

東京圏の人材（移住者）を県内に受け入れる場合、

従業員となる移住者に世帯100万円（単身や子育て世帯は額が異なります。）を移住先市町から支給する制度です。

東京圏からの採用を検討中で、対象法人登録を希望される法人は、本社所在地の市町に申請をお願いします。

詳細はこちらを御確認ください
https://www.koyou.pref.shizuoka.jp/iju_registration/



静岡県移住・就業支援金
求人サイト
<https://shizuoka-job.jp/>



ホームページ <https://www.koyou.pref.shizuoka.jp/>

発行 静岡県経済産業部就業支援局産業人材課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

問い合わせ先 ☎ 054-221-2573 ☐ koyou@pref.shizuoka.lg.jp

トピックス

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

8月 = 40,744百万円

*前年同月比： 1.1%増

(県内3百貨店、163スーパー合計)

<概況>

8月の大型小売店販売額は40,744百万円で、前年同月比1.1%増となり、10か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店(前年同月比6.1%増)が4か月ぶり、スーパー(同0.5%増)が10か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、衣料品(同13.1%減)が8か月連続、身の回り品(同21.3%減)が10か月連続、家庭用品(同12.4%減)が8か月連続で前年実績を下回ったものの、飲食料品(同1.5%増)が13か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は2.1%増と、20か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
販売額(百万円)	39,903	36,272	40,511	37,850	39,155	38,899	39,801	40,744
前年同月比(%)	2.1	2.1	3.6	4.9	4.4	2.1	1.7	1.1
うち百貨店(%)	3.3	3.2	▲1.0	0.7	▲2.3	▲6.8	▲4.2	6.1
スーパー(%)	1.9	1.9	4.4	5.6	5.5	3.8	2.7	0.5
(参考1)全国前年同月比(%)	2.9	0.6	1.7	1.5	0.6	▲0.1	0.4	1.8
うち百貨店(%)	5.1	▲1.7	▲2.9	▲4.5	▲7.0	▲7.7	▲6.1	2.5
スーパー(%)	2.1	1.6	3.7	3.9	3.6	3.1	3.1	1.6
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	3.2	3.8	4.7	5.1	4.7	2.3	1.9	2.1

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
衣料品	▲4.8	▲17.8	▲17.1	▲19.4	▲17.4	▲17.4	▲21.3	▲13.1
うち紳士服・洋品	▲2.7	▲19.5	▲19.6	▲24.6	▲19.6	▲21.3	▲29.0	▲22.0
婦人・子供服・洋品	▲5.8	▲17.8	▲16.7	▲17.8	▲17.6	▲16.6	▲18.0	▲9.7
身の回り品	▲8.5	▲5.8	▲15.5	▲17.5	▲10.1	▲22.1	▲19.4	▲21.3
飲食料品	3.5	2.6	5.0	7.5	6.8	4.2	4.3	1.5
家庭用品	▲3.1	▲6.3	▲6.5	▲7.4	▲6.5	▲1.7	▲10.9	▲12.4
うち家庭用電気機械器具	▲2.8	13.4	5.0	4.7	5.2	13.8	▲1.3	7.8

(注)店舗数調整済、全月速報値

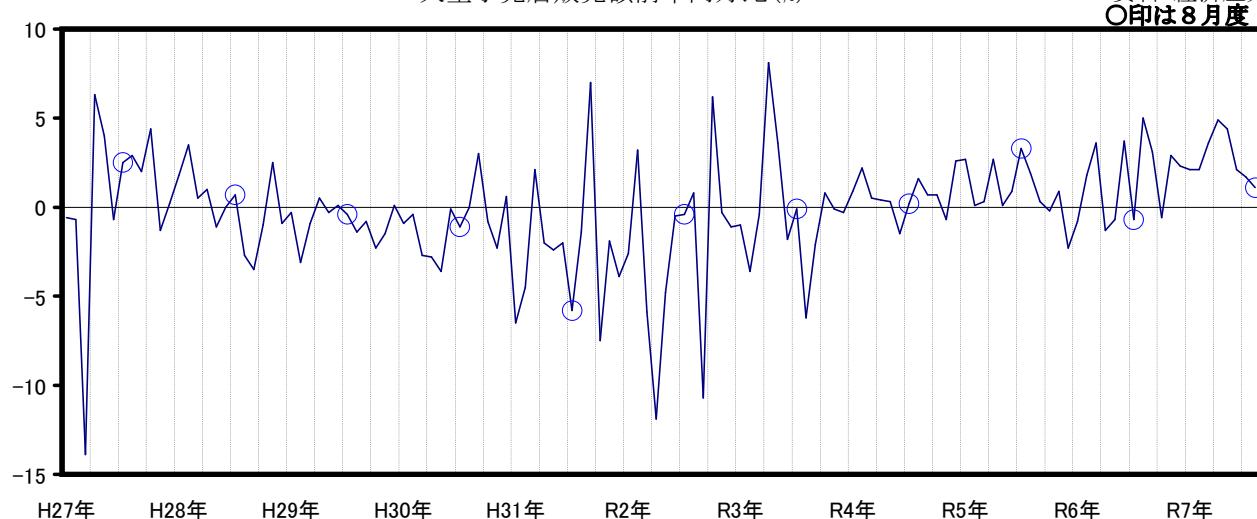
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は8月度



(2) 専門量販店等販売額

8月 = 85,012百万円

*前年同月比： 0.1%増

(県内92家電大型専門店、1,667コンビニエンスストア、623ドラッグストア、112ホームセンター合計)

<概況>

8月の専門量販店等販売額は85,012百万円で、前年同月比 0.1%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、ドラッグストア（前年同月比 0.2%減）が52か月ぶり、ホームセンター（同 6.3%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店（同 0.4%増）が2か月ぶり、コンビニエンスストア（同 2.2%増）が6か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
販売額（百万円）	76,831	71,641	83,621	77,470	80,070	81,786	85,310	85,012
前年同月比（%）	3.0	1.0	4.0	2.3	3.4	4.3	▲ 0.1	0.1
うち 家電大型専門店（%）	2.7	5.5	3.2	3.2	5.9	4.5	▲ 12.6	0.4
コンビニエンスストア（%）	2.8	▲ 0.6	3.0	1.8	2.2	4.3	1.1	2.2
ドラッグストア（%）	4.8	1.7	6.4	3.8	5.3	4.6	3.4	▲ 0.2
ホームセンター（%）	▲ 2.9	0.0	▲ 0.5	▲ 2.3	▲ 0.6	2.7	▲ 2.0	▲ 6.3
(参考)全国前年同月比（%）	4.5	2.1	5.0	3.6	4.5	5.3	2.5	2.8

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

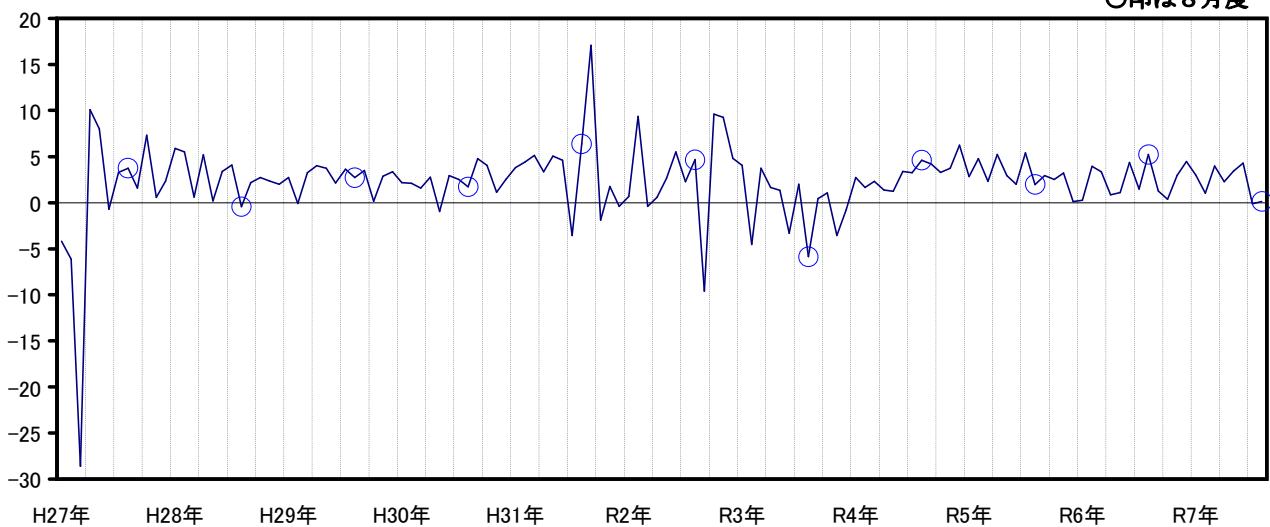
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省

○印は8月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数

8月 = 10,080台

*前年同月比： 8.2%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

8月の自動車(新車)新規登録台数は、10,080台で、2か月連続で前年実績を下回った。車種別にみると、乗用車(前年同月比 11.8%減)、軽自動車(同 4.0%減)がいずれも2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
登録台数(台)	14,274	15,574	17,219	11,709	10,847	13,690	12,819	10,080
前年同月比(%)	15.4	21.9	9.7	11.0	5.4	10.1	▲3.5	▲8.2
(参考)全国前年同月比(%)	15.0	18.8	9.6	11.0	3.1	5.5	▲3.7	▲8.2

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

	R7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全 乗 用 車	15.4	21.9	9.7	11.0	5.4	10.1	▲3.5	▲8.2
乗 用 車	17.8	19.9	9.4	▲0.1	▲0.1	8.6	▲2.9	▲11.8
軽 自 動 車	12.7	24.3	10.1	26.6	12.3	11.9	▲4.4	▲4.0

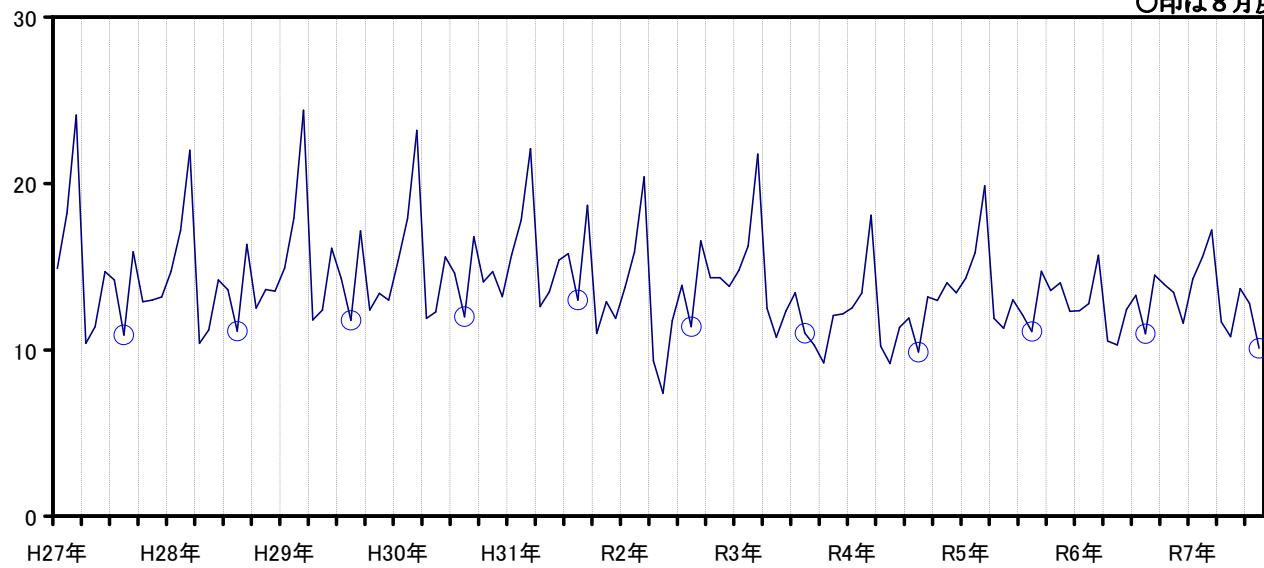
<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課

○印は8月度



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

8月 = 1,605戸

*前年同月比： 3.1%減

<概況>

8月の新設住宅着工戸数は1,605戸で、前年同月比 3.1%減と、2か月ぶりに前年実績を下回った。

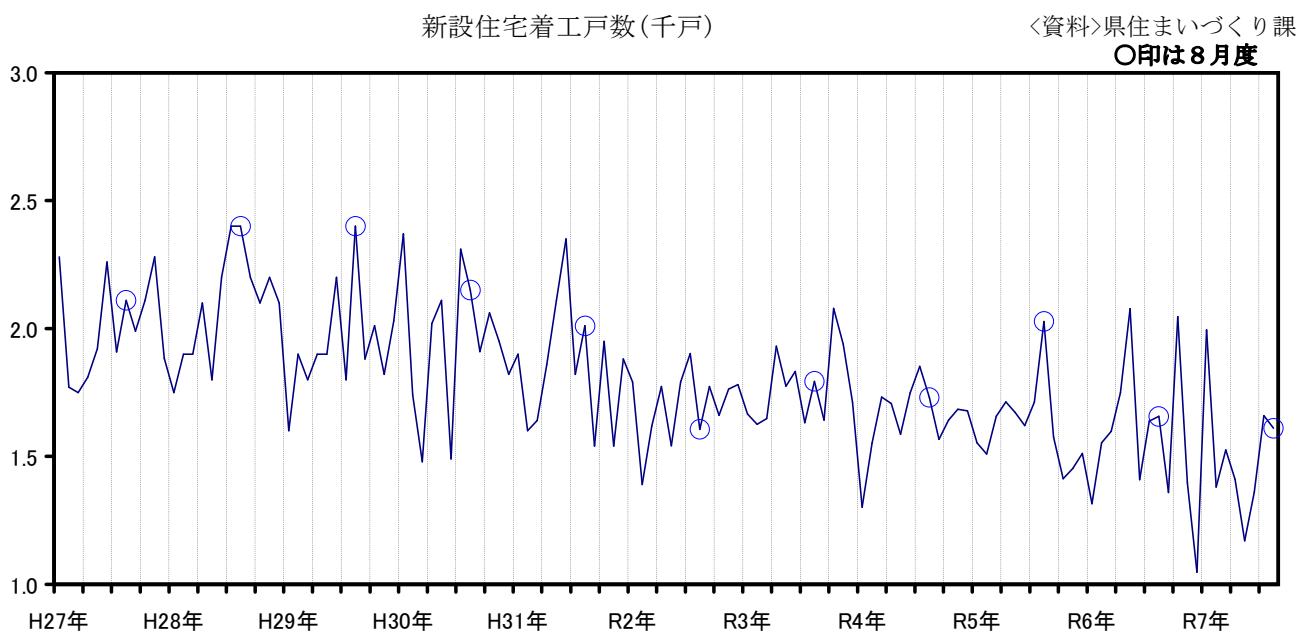
利用関係別にみると、貸家（前年同月比 9.4%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、分譲住宅（同 9.4%減）が2か月ぶり、持家（同 10.4%減）が5か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
戸 数 (戸)	1,995	1,381	1,525	1,412	1,174	1,364	1,662	1,605
前年同月比 (%)	51.6	▲ 11.0	▲ 4.6	▲ 19.3	▲ 43.5	▲ 3.2	1.5	▲ 3.1
うち持家 (%)	1.9	3.1	17.7	▲ 16.8	▲ 24.9	▲ 24.6	▲ 5.7	▲ 10.4
貸家 (%)	174.3	▲ 37.5	▲ 25.6	▲ 41.5	▲ 29.0	33.0	▲ 7.2	9.4
分譲住宅 (%)	28.3	15.9	11.1	14.4	▲ 70.0	▲ 6.7	61.5	▲ 9.4
(参考)全国前年同月比 (%)	▲ 4.6	2.4	39.1	▲ 26.6	▲ 34.4	▲ 15.6	▲ 9.7	▲ 9.8

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>



3 公共工事請負金額

8月 = 27,483百万円

*前年同月比： 1.9%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

8月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は27,483百万円で、前年同月比1.9%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は639件で、前年同月比11.6%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
金額（百万円）	15,285	13,099	31,501	65,432	43,571	51,879	37,302	27,483
前年同月比（%）	▲14.9	▲7.9	36.2	24.7	▲9.2	39.8	6.2	▲1.9
年度累計前年同月比（%）	3.3	2.7	5.1	24.7	8.5	16.9	14.7	12.4
件数（件）	261	192	540	445	542	711	832	639
前年同月比（%）	▲5.8	0.0	33.3	▲19.2	▲19.1	▲7.4	9.3	▲11.6
年度累計前年同月比（%）	▲3.1	▲3.0	▲1.0	▲19.2	▲19.2	▲14.6	▲8.0	▲8.8

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

	R7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
国	▲27.7	▲6.8	48.7	▲32.8	▲22.3	6.4	65.9	▲38.5
独立行政法人等	36.0	-	▲74.2	▲32.1	▲34.7	250.7	9.1	4,130.3
県	13.2	▲33.8	77.1	▲2.0	▲13.0	58.2	11.6	9.9
市町	▲38.1	12.3	18.2	23.2	7.2	24.7	▲13.7	1.6
地方公社	-	-	-	-	-	74.7	47.0	-
その他の	158.2	▲14.2	▲21.4	364.1	25.3	383.0	14.2	▲61.4

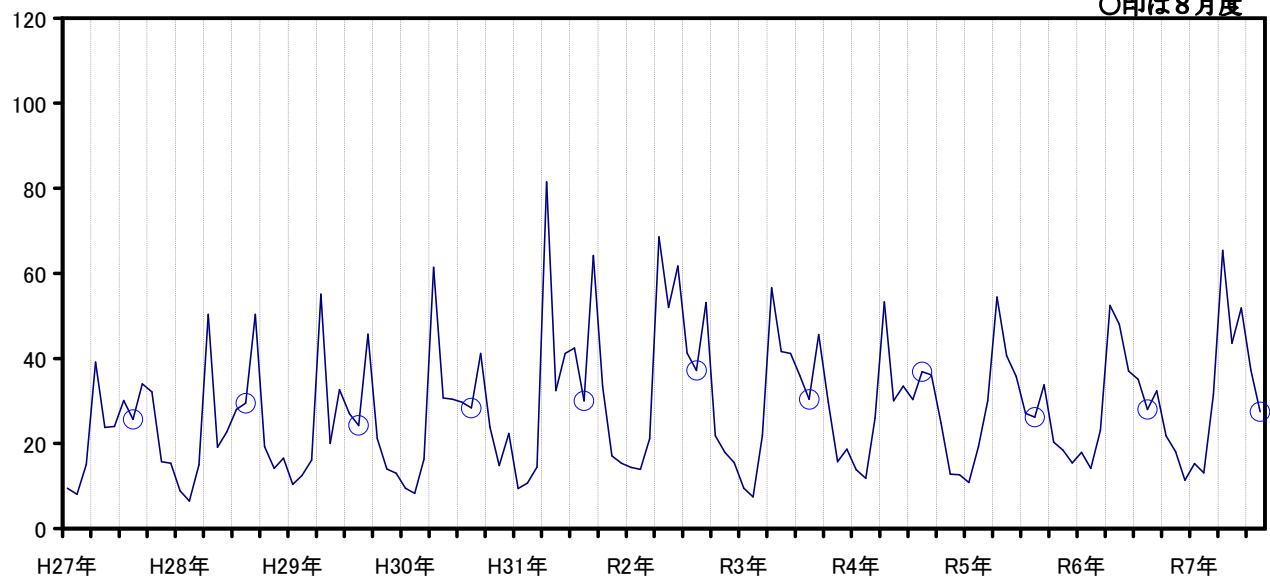
<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

○印は8月度



4 設備投資

<概況>

令和6年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加した。

令和7年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比42.2%増）、非製造業（同3.4%増）、全産業（同24.8%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比18.7%増）、非製造業（同3.4%増）、全産業（同15.4%増）においていずれも増加する計画となっている。

8月の着工建築物床面積（非居住用）は57,307m²で、前年同月比14.8%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果> (前年度比%) () 内は前回調査比修正率) 設備投資（含む土地投資） ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R6年度	R7年度 (計画)
全産業	県	(▲4.4) 7.2	24.8
	全国	(▲0.6) 7.5	6.7
製造業	県	(▲5.2) 11.5	42.2
	全国	(▲3.8) 7.3	12.4
非製造業	県	(▲3.3) 2.4	3.4
	全国	(1.3) 7.6	3.6

		R6年度	R7年度 (計画)
全産業	県	(▲1.0) 11.7	15.4
	全国	(▲1.4) 6.9	8.7
製造業	県	(0.1) 15.1	18.7
	全国	(▲2.8) 6.6	9.6
非製造業	県	(▲4.9) 0.8	3.4
	全国	(0.2) 7.1	7.7

(注1) 平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

(注2) 平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和7年6月調査）」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」（令和7年6月調査）」

<最近の動き>

	R7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
着工建築物床面積（非居住用）(m ²)	161,859	69,348	43,226	86,908	91,242	34,889	89,689	57,307
前年同月比(%)	88.3	▲73.6	▲36.6	▲5.9	▲35.8	▲77.5	46.3	▲14.8
(参考) 全国前年同月比(%)	▲23.9	2.5	7.5	0.9	22.8	▲13.9	▲20.7	▲15.6

(注3) 着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

	R7年3月	R7年6月	R7年9月 (予測)
全 産 業	6	5	2
製 造 業	▲4	▲7	▲6
非 製 造 業	16	16	9
(参考) 全国・全産業	15	15	9

(注4) 業況判断D. I. :「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和7年6月調査）」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」（令和7年6月調査）」

5 輸出

8月 = 198,279百万円

*前年同月比： 4.2%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

8月の清水税関支署管内の輸出総額は198,279百万円で、前年同月比4.2%減となり、8か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、自動車の部分品（前年同月比1.3%増）、二輪自動車類（同31.1%増）がいずれも2か月ぶり、原動機（同15.6%増）が3か月連続で前年実績を上回ったものの、エアコン（同9.3%減）が3か月連続、自動車（同15.1%減）が8か月連続、科学光学機器（同25.2%減）が13か月連続で前年実績を下回った。

地域別にみると、米国向け（同5.9%増）が6か月ぶり、EU向け（同8.2%増）が8か月ぶり前年実績を上回ったものの、アジア向け（同11.4%減）が4か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
輸出総額（百万円）	164,049	219,821	218,345	222,309	183,410	217,473	227,255	198,279
前年同月比（%）	▲12.8	▲2.9	▲3.3	▲1.5	▲5.8	▲4.0	▲7.4	▲4.2
(参考)全国前年同月比（%）	7.2	11.4	3.9	2.0	▲1.7	▲0.5	▲2.6	▲0.1

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

	R7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
原動機	1.1	14.9	▲15.6	8.2	▲8.6	17.4	6.5	15.6
エアコン	192.4	152.2	212.4	61.8	47.1	▲3.3	▲26.3	▲9.3
自動車	▲54.2	▲33.0	▲50.5	▲18.9	▲51.5	▲35.6	▲4.7	▲15.1
自動車の部分品	▲6.5	▲11.8	▲10.8	▲6.3	4.7	11.4	▲6.0	1.3
二輪自動車類	▲44.5	2.3	19.2	9.3	3.9	9.6	▲12.9	31.1
科学光学機器	▲14.8	▲22.9	▲30.2	▲24.6	▲21.4	▲31.2	▲42.5	▲25.2

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

	R7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
アジア	6.0	5.0	▲1.7	0.8	▲0.1	▲4.5	▲5.6	▲11.4
米国	▲11.0	0.8	▲5.9	▲2.0	▲9.5	▲4.3	▲11.5	5.9
EU	▲41.1	▲17.4	▲4.5	▲14.6	▲22.9	▲9.2	▲17.7	8.2

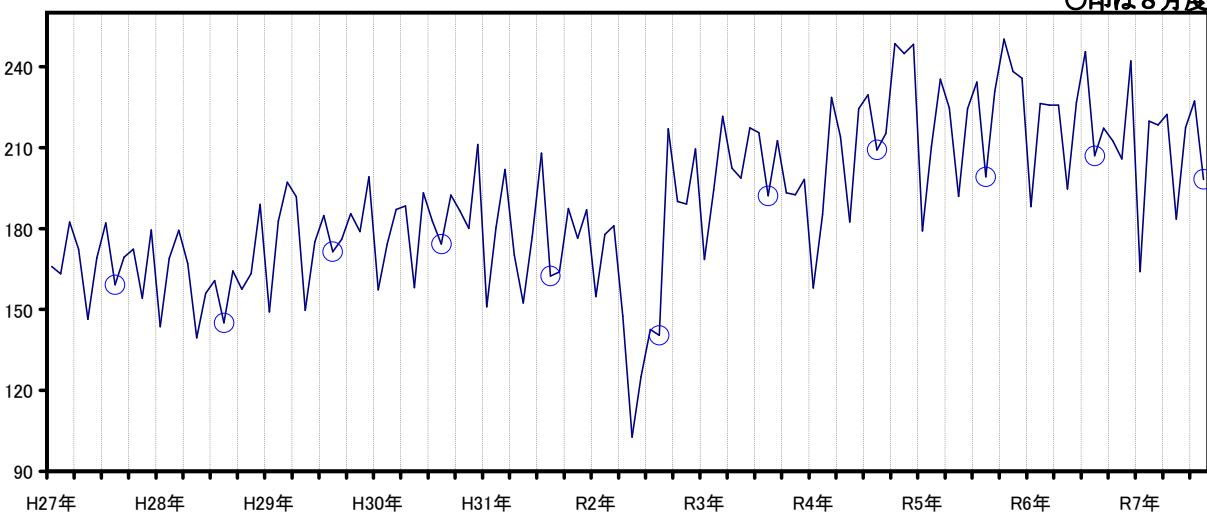
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署
○印は8月度



6 輸入

8月 = 105,909百万円

*前年同月比： 5.7%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

8月の清水税関支署管内の輸入総額は105,909百万円で、前年同月比5.7%減となり、4か月ぶりに前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、魚介類及び同調製品（前年同月比9.4%増）、木材（同2.7%増）、自動車の部分品（同32.3%増）がいずれも2か月ぶり、パルプ（同4.2%増）、原動機（同22.6%増）がいずれも4か月ぶりに前年実績を上回ったものの、紙類及び同製品（同14.7%減）が4か月ぶりに前年実績を下回った。

地域別では、アジアから（同3.6%減）が4か月ぶり、米国から（同30.8%減）、EUから（同14.4%減）がいずれも2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
輸入総額（百万円）	140,016	100,909	117,149	120,831	133,766	123,956	132,057	105,909
前年同月比（%）	▲5.4	▲8.9	13.8	▲0.4	2.3	11.4	5.8	▲5.7

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位: %)

	R7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
魚介類及び同調製品	30.7	▲3.3	1.1	30.6	▲4.5	5.9	▲2.0	9.4
木材	8.0	▲22.4	▲29.1	▲14.9	29.3	0.1	▲0.2	2.7
パルプ	55.7	30.3	▲1.3	8.0	▲5.7	▲18.1	▲15.8	4.2
紙類及び同製品	0.6	19.9	27.4	▲27.0	2.2	28.6	1.2	▲14.7
原動機	7.6	▲40.3	▲19.8	15.9	▲39.6	▲0.8	▲60.9	22.6
自動車の部分品	10.9	▲22.7	▲17.1	▲7.1	▲17.1	0.2	▲3.0	32.3

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位: %)

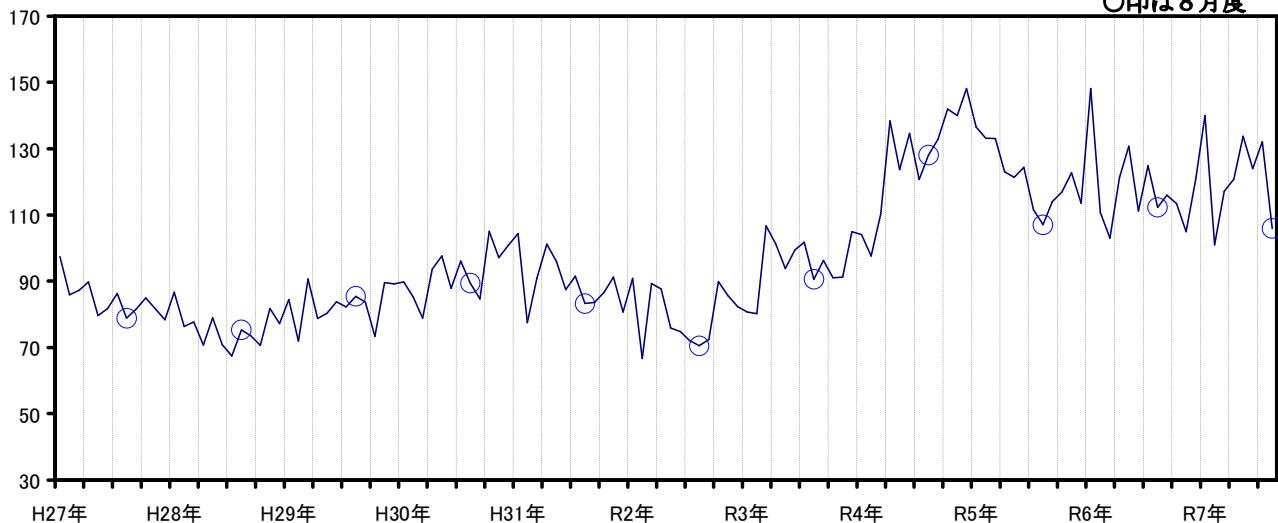
	R7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
アジア	9.3	▲12.3	26.5	▲0.7	8.0	7.1	14.1	▲3.6
米国	▲75.5	▲33.2	▲16.7	▲38.5	▲31.3	▲15.9	2.7	▲30.8
EU	164.0	▲3.8	▲17.7	▲6.5	5.5	▲14.4	10.1	▲14.4

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署
○印は8月度



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

8月 = 95.3

(令和2年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 1.7%増

*前年同月比(原指数) : 3.0%減

<概況>

8月の鉱工業生産指数(総合)は95.3(季節調整済指数)で、前月比は1.7%増と、3か月ぶりに増加した。また、前年同月比(原指数)は3.0%減と、2か月連続で前年水準を下回った。

業種別にみると、電気機械(前年同月比5.7%増)が12か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同3.6%減)が2か月連続、輸送機械(同1.9%減)が13か月連続、化学(同4.7%減)が8か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同8.7%減)が4か月連続、食料品・たばこ(同4.4%減)が5か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
指 数	99.0	97.9	93.9	93.3	99.8	96.3	93.7	95.3
前月比(%)	6.7	▲1.1	▲4.1	▲0.6	7.0	▲3.5	▲2.7	1.7
前年同月比(%)	4.1	▲5.3	▲2.1	▲3.6	▲4.0	1.7	▲4.1	▲3.0
(参考)全国前年同月比(%)	2.2	0.1	1.0	0.5	▲2.4	4.4	▲0.4	▲1.6

(注)令和2年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位: %)

	R7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲0.9	▲31.6	▲14.2	▲23.8	▲1.8	0.0	▲6.6	▲3.6
電気機械工業	26.4	17.0	34.0	30.7	14.8	25.4	9.9	5.7
輸送機械工業	▲0.1	▲6.5	▲16.8	▲6.6	▲7.9	▲2.1	▲4.1	▲1.9
化学工業	▲9.1	▲8.4	▲3.3	▲11.0	▲18.5	▲7.6	▲14.4	▲4.7
パルプ・紙・紙加工品工業	▲2.2	▲3.6	2.5	1.5	▲0.4	▲2.0	▲3.8	▲8.7
食料品・たばこ工業	4.7	▲2.9	2.2	▲15.6	▲3.6	▲1.2	▲4.9	▲4.4

(注)令和2年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

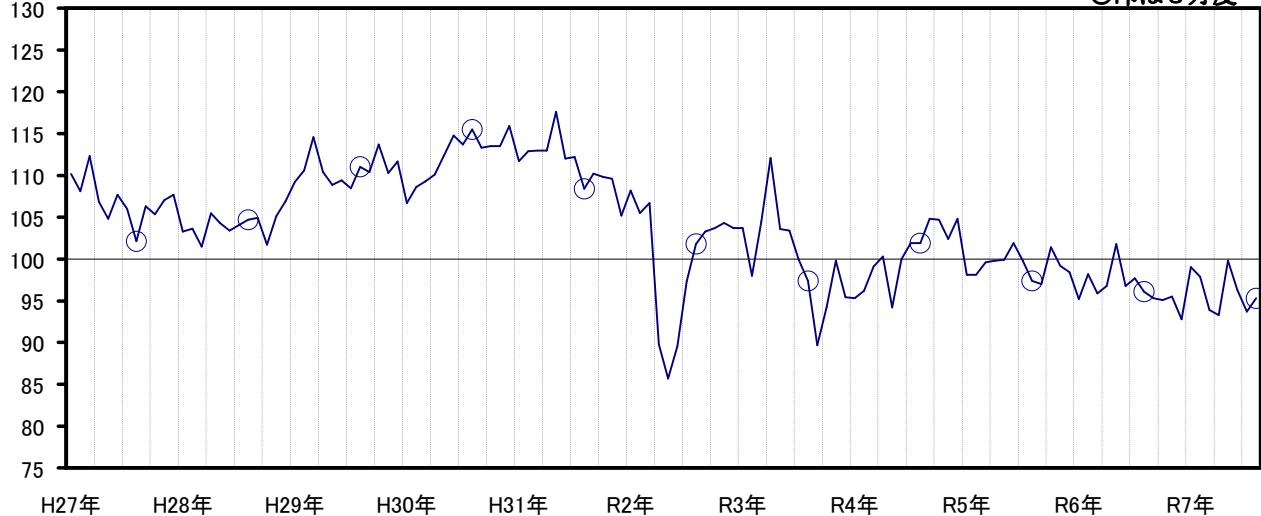
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計調査課

○印は8月度



(2) 鉱工業在庫指数

8月 = 102.0

(令和2年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.1%減

*前年同月比(原指数) : 5.0%減

<概況>

8月の鉱工業在庫指数(総合)は102.0(季節調整済指数)で、前月比は0.1%減と、2か月連続で減少した。また、前年同月比(原指数)は5.0%減と、9か月連続で前年水準を下回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。

業種別にみると、電気機械(前年同月比5.2%増)が3か月連続、化学(同6.3%増)が10か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同4.7%増)が15か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同4.7%減)が9か月連続、輸送機械(同34.7%減)が5か月連続、食料品・たばこ(同0.6%減)が3か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
指 数	101.3	103.2	105.6	103.0	102.8	104.8	102.1	102.0
前 月 比 (%)	2.5	1.9	2.3	▲ 2.5	▲ 0.2	1.9	▲ 2.6	▲ 0.1
前 年 同 月 比 (%)	▲ 2.8	▲ 1.9	▲ 0.1	▲ 2.6	▲ 2.9	▲ 0.1	▲ 2.6	▲ 5.0
(参考)全国前年同月比(%)	0.6	▲ 1.4	▲ 0.7	▲ 1.1	▲ 3.1	▲ 3.1	▲ 2.4	▲ 2.9

(注)令和2年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位: %)

	R7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 8.5	▲ 12.6	▲ 8.6	▲ 9.9	▲ 5.9	▲ 4.9	▲ 5.3	▲ 4.7
電気機械工業	▲ 7.6	▲ 6.5	3.2	0.1	▲ 7.1	3.4	2.1	5.2
輸送機械工業	▲ 10.9	7.5	0.3	▲ 13.6	▲ 17.6	▲ 7.6	▲ 13.7	▲ 34.7
化学工業	4.5	0.7	2.5	1.6	0.4	4.8	6.3	6.3
パルプ・紙・紙加工品工業	1.9	0.6	5.4	7.7	11.0	8.0	4.6	4.7
食料品・たばこ工業	5.1	▲ 0.8	0.8	3.0	3.4	▲ 2.0	▲ 11.3	▲ 0.6

(注)令和2年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

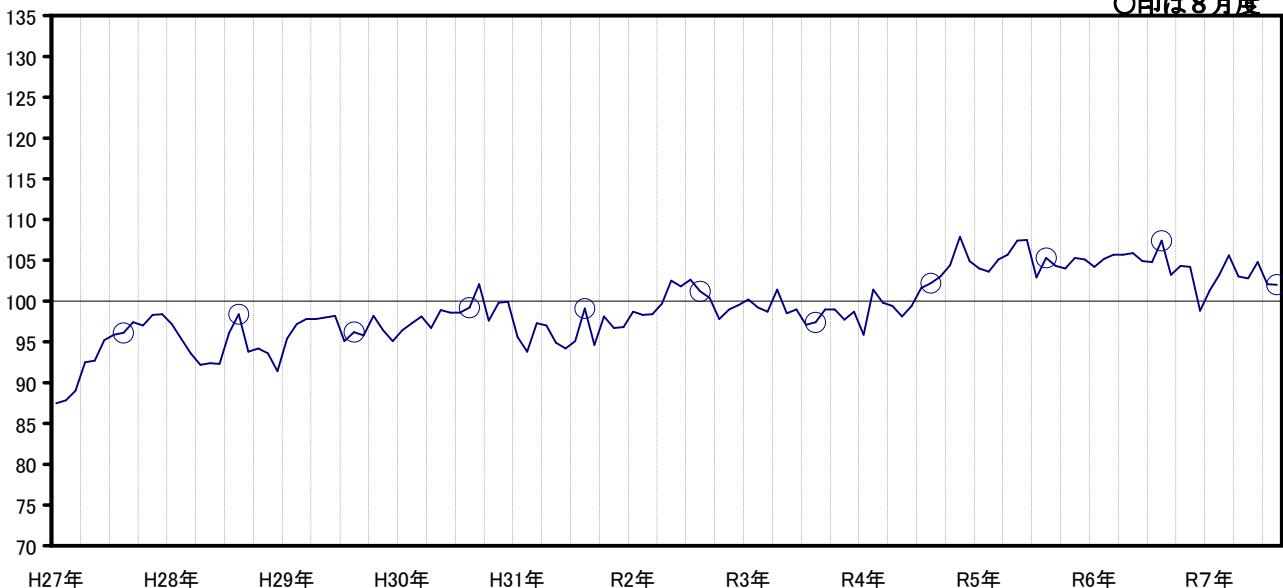
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業在庫指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計調査課

○印は8月度



雇用面

1 雇用

(1) 有効求人倍率

8月 = 1.05倍

*前月比（季節調整値）：0.00ポイント増

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

＜概況＞

8月の有効求人倍率（受理地別、季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.05倍となり、前月と同水準だった。55か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.15ポイント下回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比6.9%減）は4か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、サービス業（他に分類されないもの）（前年同月比11.9%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、運輸業・郵便業（同16.8%減）、卸売業・小売業（同41.8%減）がいずれも3か月ぶり、建設業（同1.1%減）、情報通信業（同17.8%減）、医療・福祉（同4.0%減）がいずれも2か月連続、製造業（同17.8%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

＜最近の動き＞

	R7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
県（受理地別）	1.10	1.09	1.09	1.10	1.08	1.07	1.05	1.05
（参考）県（就業地別）	1.25	1.24	1.24	1.23	1.23	1.23	1.19	1.18
全 国	1.26	1.24	1.26	1.26	1.24	1.22	1.22	1.20

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

＜産業別新規求人前年同月比の推移＞

	R7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
建設業	▲3.5	▲5.0	▲6.0	▲3.6	▲4.4	0.3	▲4.1	▲1.1
製造業	▲4.2	▲0.6	▲9.5	▲7.0	8.0	▲0.8	▲16.2	▲1.3
情報通信業	26.0	▲13.4	▲20.7	▲37.8	▲31.3	11.5	▲15.7	▲17.8
運輸業・郵便業	21.9	▲19.7	▲6.0	20.3	▲11.6	5.7	3.3	▲16.8
卸売業・小売業	▲31.8	34.0	▲16.5	55.9	▲21.9	4.4	18.9	▲41.8
医療・福祉	3.8	▲2.3	0.1	▲0.2	▲4.3	0.6	▲0.7	▲4.0
サービス業（他に分類されないもの）	4.7	▲6.5	▲10.2	2.5	7.6	0.4	▲12.1	11.9
合 計	▲4.4	▲1.6	▲7.8	4.6	▲4.1	▲0.6	▲3.3	▲10.1

(注)学卒、パートタイムを除く

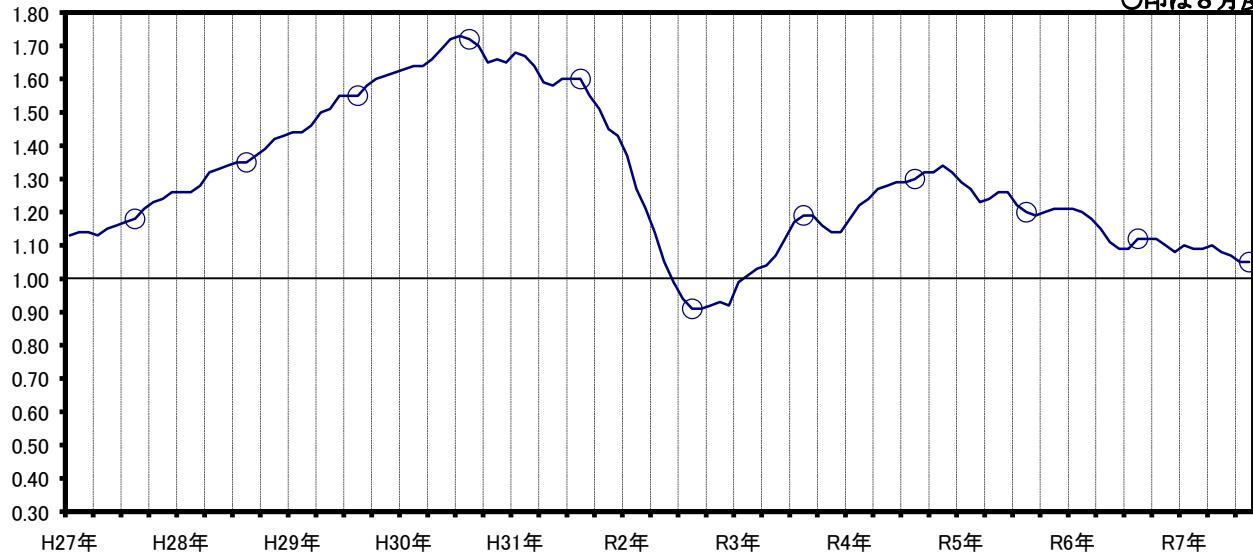
＜資料＞厚生労働省

＜過去10年間の推移＞

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

＜資料＞厚生労働省

○印は8月度



(2) 雇用保険受給者実人員

8月 = 14,817人

*前月比: 1.3%減

*前年同月比: 9.0%増

<概況>

8月の雇用保険受給者実人員は14,817人で、前月比は1.3%減と、5か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比は9.0%増と3か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率（全国）は2.6%と前月から0.3ポイント悪化した。

静岡県（令和7年4～6月）の完全失業率は2.1%で、前期（令和7年1～3月）から0.2ポイント改善した。

<最近の動き>

	R7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
実人員（人）	12,029	11,522	11,216	11,217	12,059	12,992	15,013	14,817
前月比（%）	▲2.1	▲4.2	▲2.7	0.0	7.5	7.7	15.6	▲1.3
前年同月比（%）	4.9	3.2	5.9	0.2	▲0.8	4.2	8.3	9.0
（参考）全国前年同月比（%）	0.8	▲0.7	0.9	▲2.5	▲2.3	5.4	7.2	8.5

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率（全国）の推移>

	R7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
完全失業率（全国）（%）	2.5	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.6

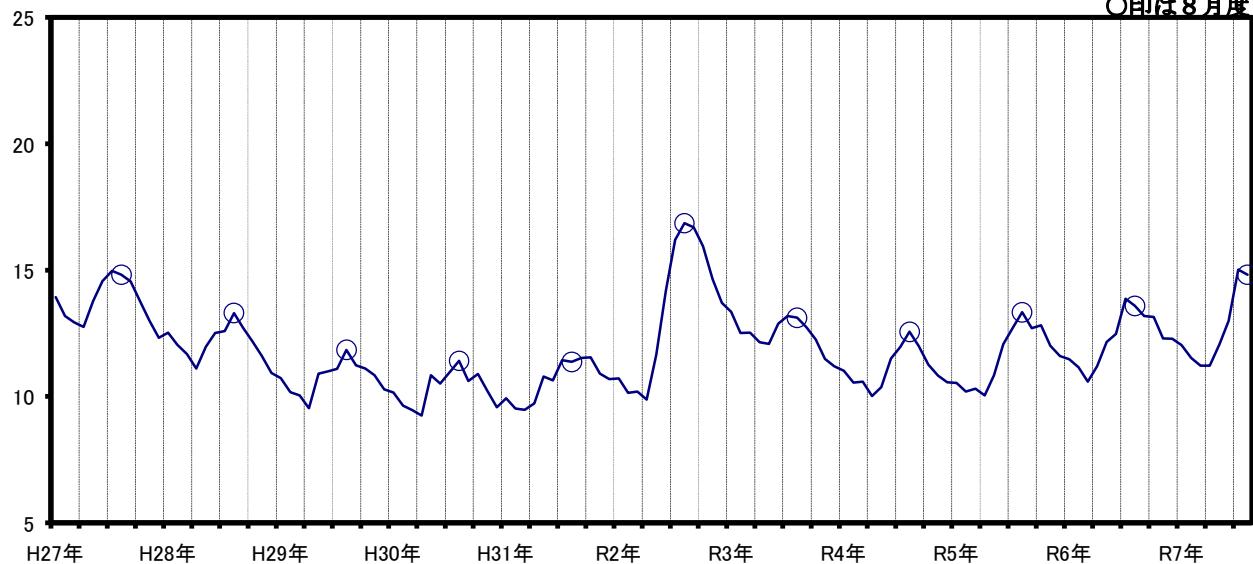
（注）季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員（千人）

<資料>厚生労働省
○印は8月度



(3) 所定外労働時間指数

7月 = 124.6

*前月比(季節調整済指数)： 0.2%増

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 0.0%増

<概況>

7月の所定外労働時間指数（事業所規模30人以上、調査産業計）は124.6(季節調整済指数)で、4か月連続で前月を上回った。また、前年同月比(原指数)は前年実績と同水準だった。業種別にみると、医療・福祉、その他のサービス業が前年実績と同水準、運輸業・郵便業(前年同月比 42.9%増)が6か月連続で前年実績を上回ったものの、情報通信業(同 10.1%減)が6か月ぶり、建設業(同 17.7%減)が8か月連続、製造業(同 7.5%減)、卸売業・小売業(同 21.8%減)がいずれも11か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 6年12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
指 数	120.1	113.8	119.7	117.3	122.1	124.0	124.3	124.6
前 月 比 (%)	▲ 7.1	▲ 5.2	5.2	▲ 2.0	4.1	1.6	0.2	0.2
前 年 同 月 比 (%)	3.2	▲ 9.2	▲ 0.8	0.0	▲ 4.4	▲ 4.6	▲ 0.7	0.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 3.3	▲ 0.9	▲ 2.5	▲ 3.3	▲ 1.7	▲ 1.8	▲ 2.6	▲ 1.7

*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位: %)

	R 6年12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
建 設 業	▲ 2.7	▲ 36.7	▲ 39.3	▲ 2.2	▲ 13.1	▲ 30.1	▲ 20.9	▲ 17.7
製 造 業	▲ 2.5	▲ 9.1	▲ 6.7	▲ 4.9	▲ 7.5	▲ 9.5	▲ 9.1	▲ 7.5
情 報 通 信 業	▲ 37.1	▲ 8.0	19.9	4.3	2.3	43.1	38.0	▲ 10.1
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 20.3	▲ 0.5	23.7	16.6	14.7	10.6	11.5	42.9
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 22.0	▲ 2.7	▲ 9.5	▲ 4.5	▲ 20.9	▲ 20.6	▲ 15.1	▲ 21.8
医 療 ・ 福 祉	▲ 9.0	5.1	4.9	▲ 11.8	▲ 3.0	0.0	22.4	0.0
その他のサービス業	40.3	▲ 19.9	▲ 1.3	▲ 7.5	2.7	2.2	▲ 6.1	0.0
調 査 産 業 計	3.2	▲ 9.2	▲ 0.8	0.0	▲ 4.4	▲ 4.6	▲ 0.7	0.0

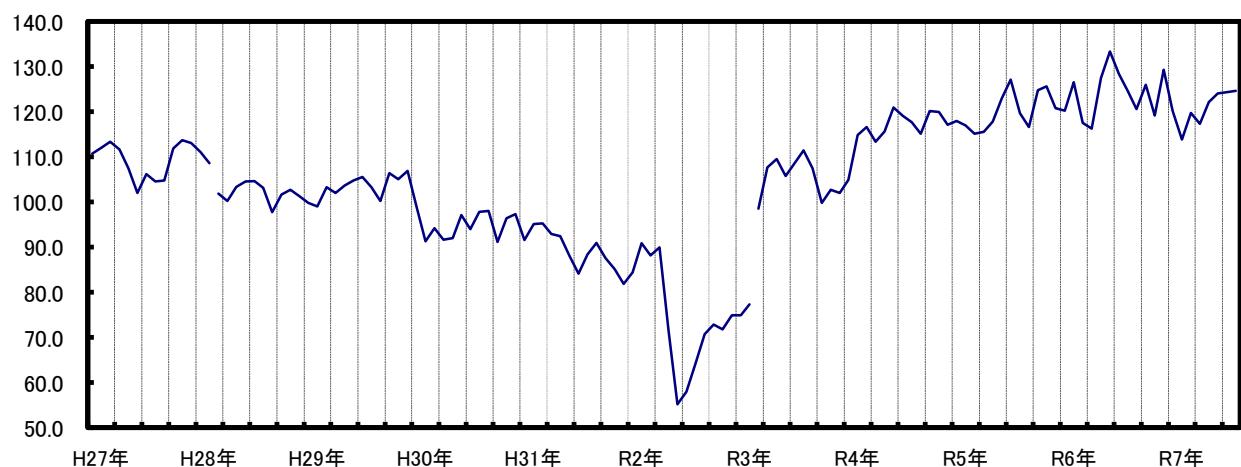
*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



その他の

1 物 価

国内企業物価指数

9月 = 126.9

(令和2年=100)

*前月比: 0.3%上昇

*前年同月比: 2.7%上昇

<概況>

9月の国内企業物価指数は126.9となり、前月比は0.3%の上昇となった。また、前年同月比は2.7%の上昇となった。

	R7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
国内企業物価指数	125.8	126.2	126.6	126.5	126.3	126.7	126.5	126.9
前月比(%)	0.2	0.3	0.3	▲0.1	▲0.2	0.3	▲0.2	0.3
前年同月比(%)	4.3	4.3	3.9	3.1	2.7	2.5	2.7	2.7

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

8月 = 145,524億円

(銀行、信用金庫)

*前月比: 0.2%増

*前年同月比: 1.8%増

<概況>

8月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は145,524億円で、前月比とは0.2%の増加となった。また、前年同月比は1.8%の増加となった。

	R7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
貸出残高(億円)	143,689	143,648	144,009	143,374	145,233	145,216	145,267	145,524
前月比(%)	▲0.3	0.0	0.3	▲0.4	1.3	0.0	0.0	0.2
前年同月比(%)	1.0	0.9	0.2	1.0	2.0	1.6	1.9	1.8

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

8月 = 1.540%

(県内地銀4行総平均)

*前月差: 0.002ポイント減

*前年同月差: 0.261ポイント増

<概況>

8月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.540%で、前月から0.002ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.261ポイントのプラスとなった。

	R7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
貸出約定金利(%)	1.384	1.398	1.435	1.483	1.485	1.534	1.542	1.540
前月差(ホーポイント)	0.017	0.014	0.037	0.037	0.002	0.049	0.008	▲0.002
前年同月差(ホーポイント)	0.130	0.145	0.179	0.179	0.213	0.268	0.274	0.261

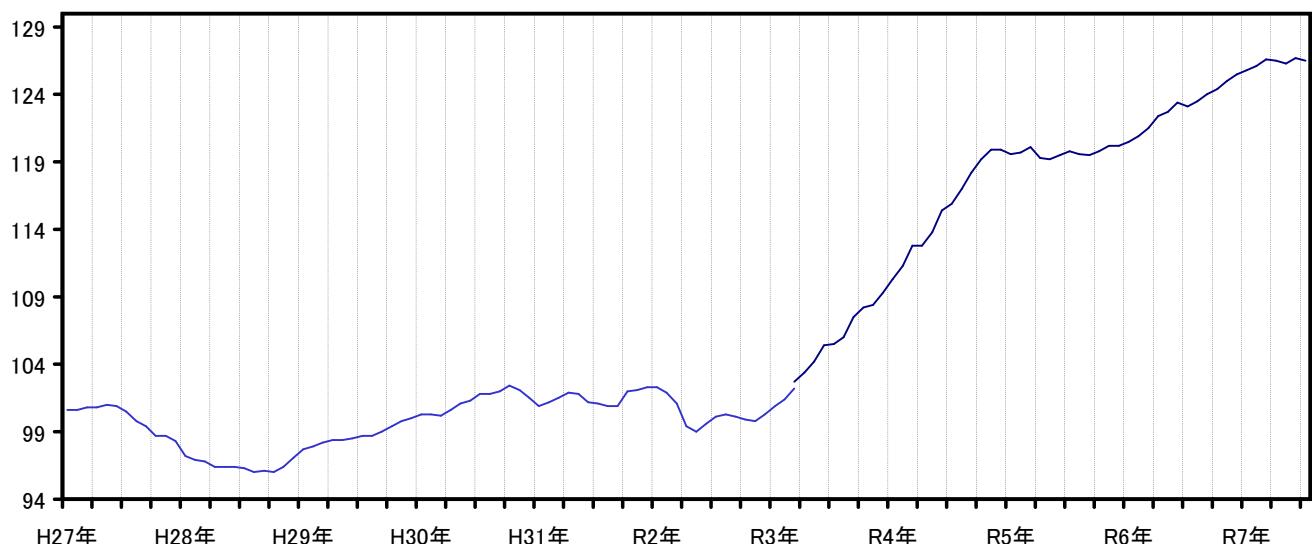
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

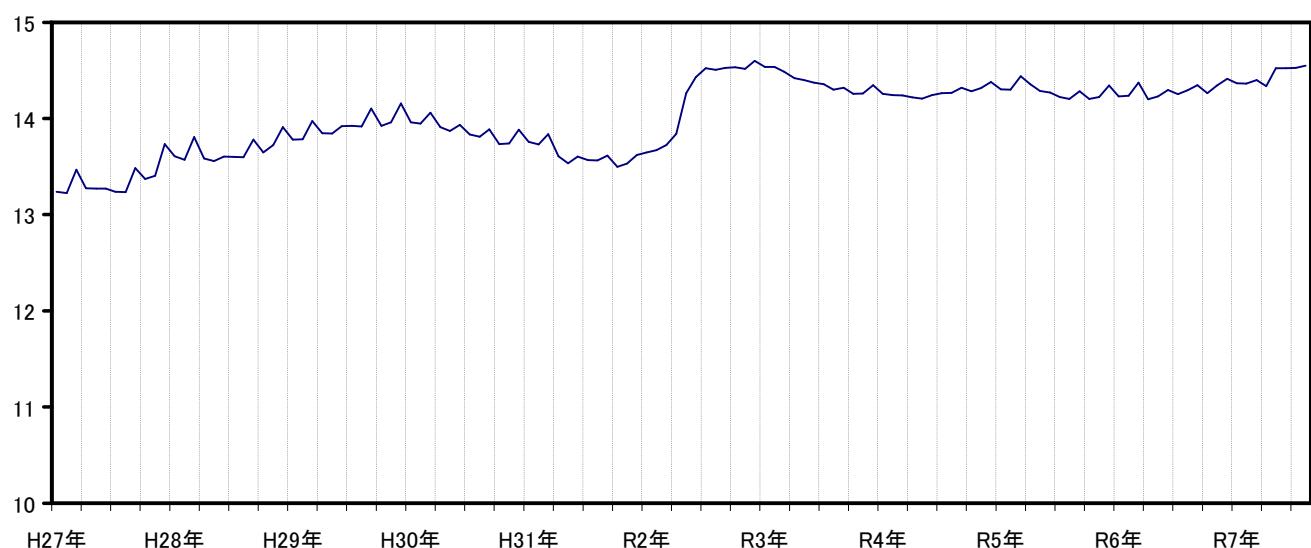
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



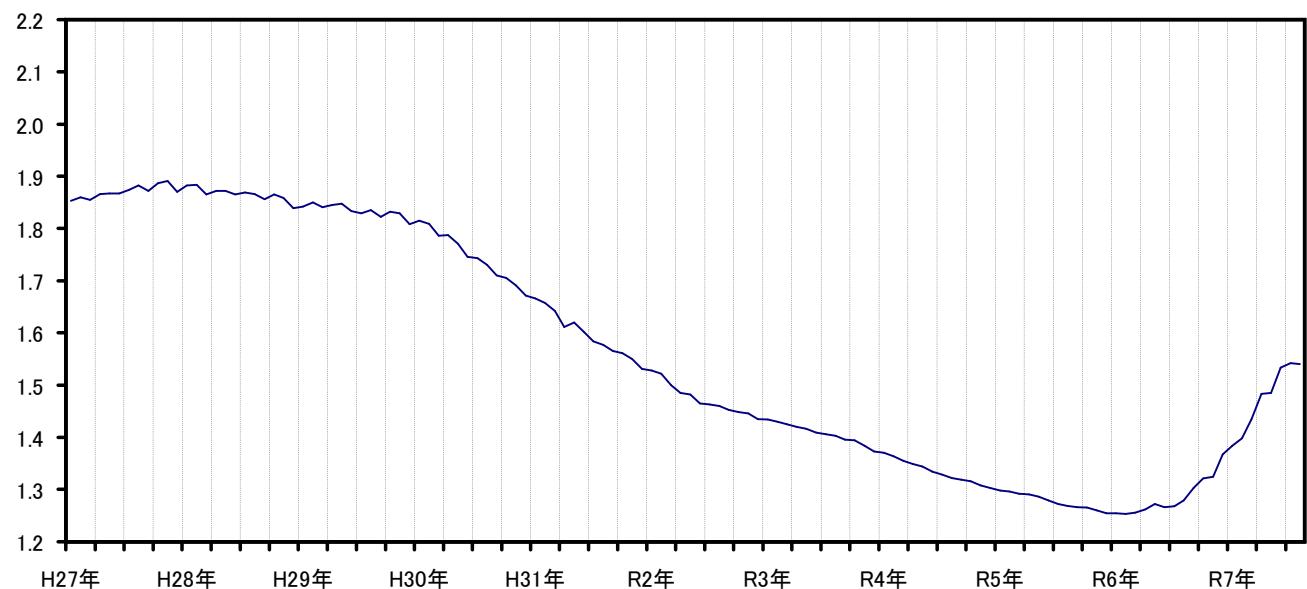
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額

8月 = 19,851百万円

*前年同月比： 41.4%増

＜概況＞

8月の保証承諾は、金額は19,851百万円（前年同月比 41.4%増）、件数は1,584件（同 14.2%増）と、いずれも前年実績を上回った。

	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
保証金額（百万円）	11,797	12,702	28,519	28,272	32,981	28,829	22,299	19,851
前年同月比（%）	▲ 44.5	▲ 47.7	▲ 27.2	73.9	52.2	▲ 4.9	▲ 2.8	41.4
保証件数（件）	1,190	1,270	2,183	1,810	2,030	1,961	1,753	1,584
前年同月比（%）	▲ 22.5	▲ 29.2	▲ 14.8	32.2	18.6	▲ 9.2	▲ 2.8	14.2

＜資料＞県信用保証協会

(4) 円相場

9月 = 147.94円/ドル

*前月差： 0.27円安

(東京・銀行間直物中心・平均)

*前年同月差： 4.56円安

＜概況＞

9月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は147.94円で、前月と比べて0.27円の円安となり、3か月連続で円安となった。

＜最近の動き＞

▲…円高

	R 7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
平均相場（円）	151.96	149.18	144.39	144.75	144.50	146.71	147.67	147.94
前月差（円）	▲ 4.53	▲ 2.78	▲ 4.79	0.36	▲ 0.25	2.21	0.96	0.27
前年同月差（円）	2.54	▲ 0.45	▲ 9.04	▲ 11.38	▲ 13.32	▲ 11.35	1.44	4.56

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営

企業倒産件数

8月 = 17件

*前年同月比： 41.7%増

＜概況＞

8月の負債総額1,000万円以上の企業倒産は、件数は17件（前年同月比 41.7%増）と前年実績を上回り、負債総額は2,832百万円（同 39.6%増）と前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が12件と全体の70.6%を占め、28か月連続で50%以上となっている。

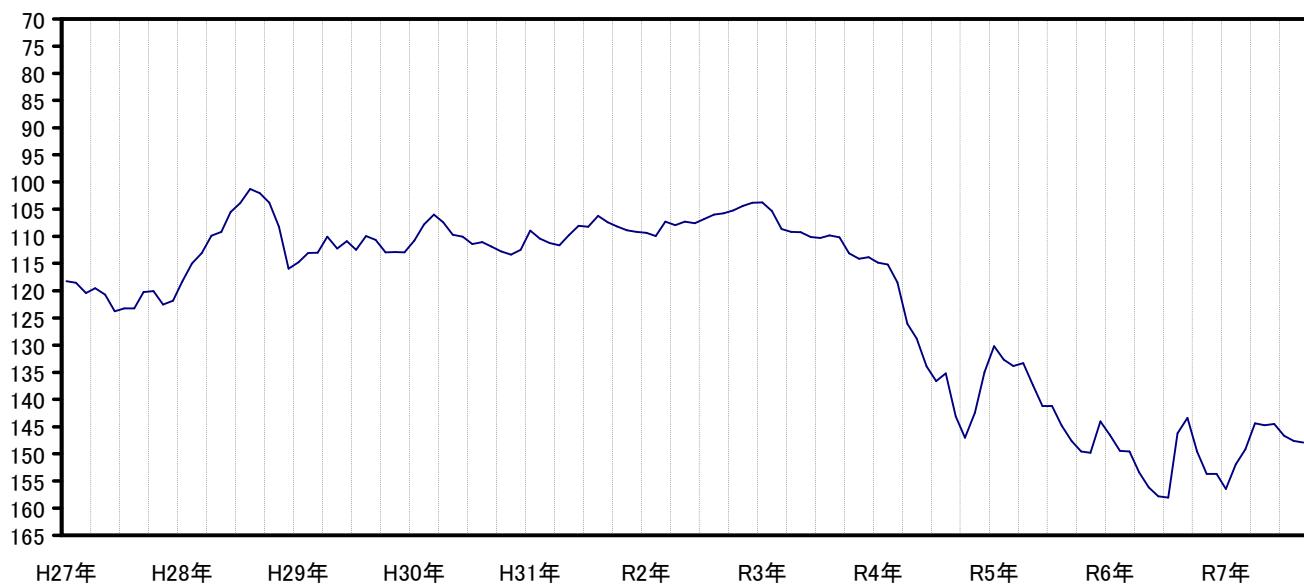
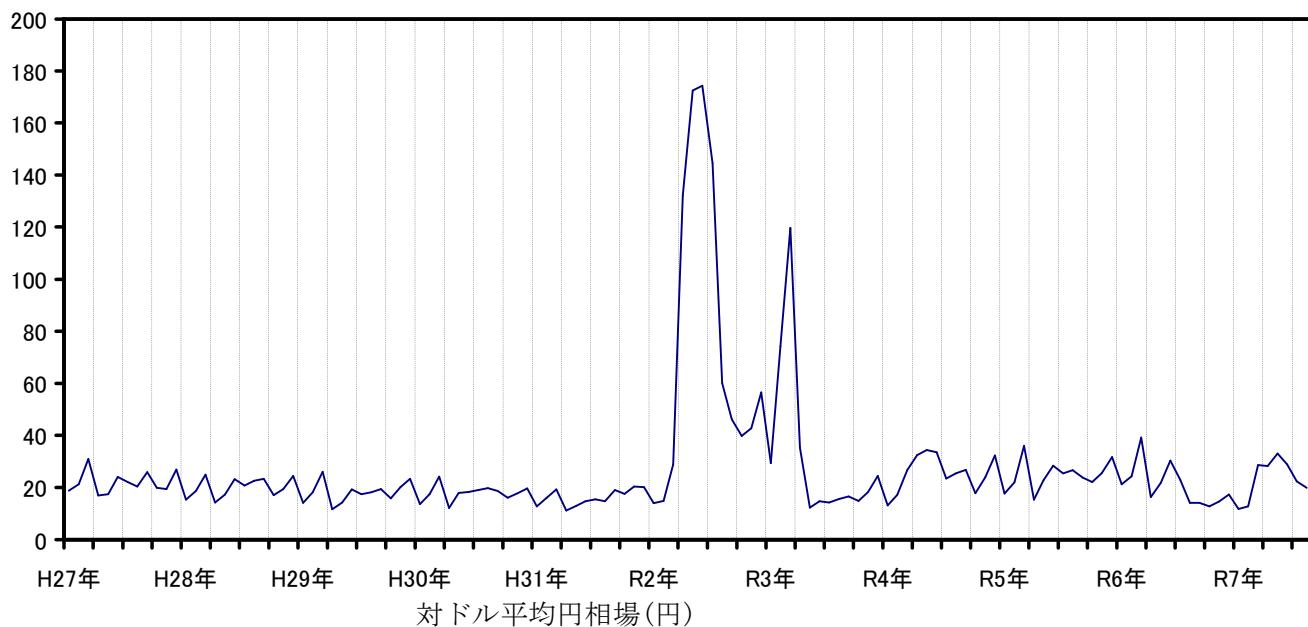
	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
倒産件数（件）	19	18	26	14	17	23	20	17
前年同月比（%）	26.6	100.0	44.4	▲ 36.4	▲ 22.7	76.9	▲ 23.1	41.7
うち不況型倒産件数(件)	15	17	23	13	14	18	18	12
負債総額（百万円）	2,011	2,450	4,227	1,595	1,653	2,896	3,548	2,832
前年同月比（%）	64.9	147.4	▲ 8.8	▲ 32.4	▲ 84.1	116.1	▲ 58.0	39.6

＜資料＞(株)東京商工リサーチ静岡社

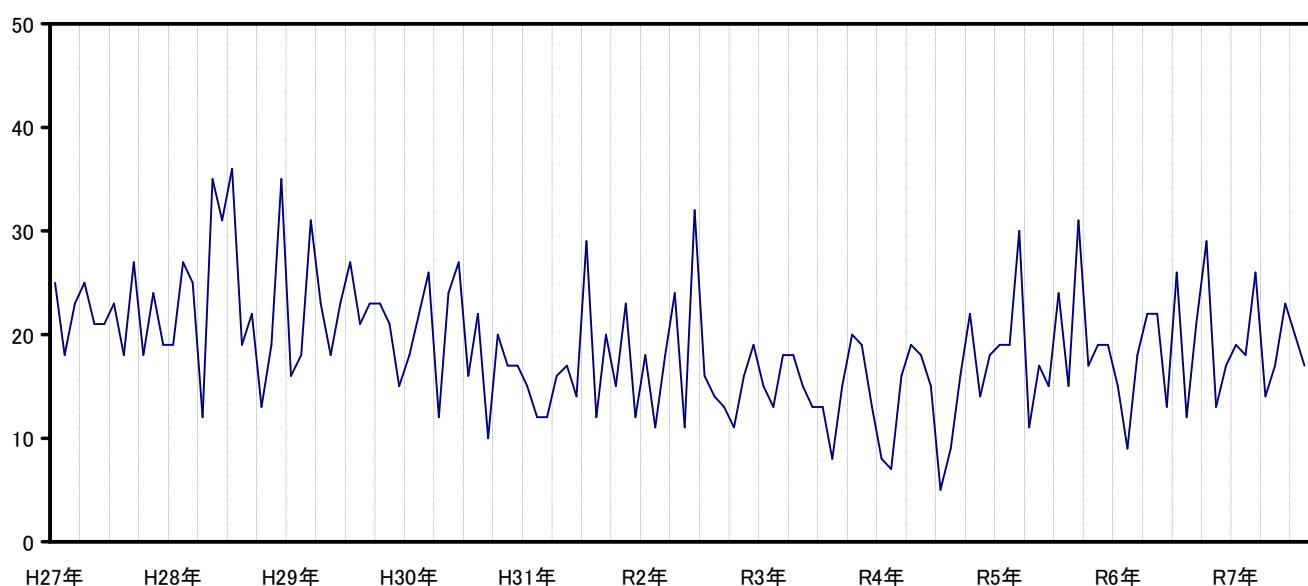
＜過去10年間の推移＞

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

＜資料＞県信用保証協会



＜資料＞(株)東京商工リサーチ静岡支社



III 令和7年8月を中心とした静岡県主要産業の動向

業種	産業動向
二輪車	<p>7月の国内二輪車生産台数は、59,021台（前年同月比18.4%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、13,460台（同63.9%増）で、13か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、4,637台（同22.7%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、5,308台（同16.1%増）で2か月ぶりに前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、35,616台（同33.5%増）で、7か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、27,390台（同15.7%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、38,700台（同20.6%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自動車	<p>7月の自動車国内生産台数は、743,521台（前年同月比7.5%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。輸出は356,290台（同5.9%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が2か月ぶり、トラックが7か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>8月の冷蔵庫の国内出荷額は303億円（前年同月比17.6%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。国内出荷台数は294千台（同2.9%減）で、5か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>8月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは660千台（同8.2%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。業務用は71千台（同5.2%減）で、8か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>8月の携帯電話の国内出荷台数は、301千台（同33.1%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、236千台（同37.0%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は78.6%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>8月の工作機械の受注総額は、1,201億7,200万円（前年同月比8.5%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は882億7,700万円（同12.3%増）で、11か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが431億9,700万円（同1.0%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。内需は318億9,500万円（同0.9%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会</p>

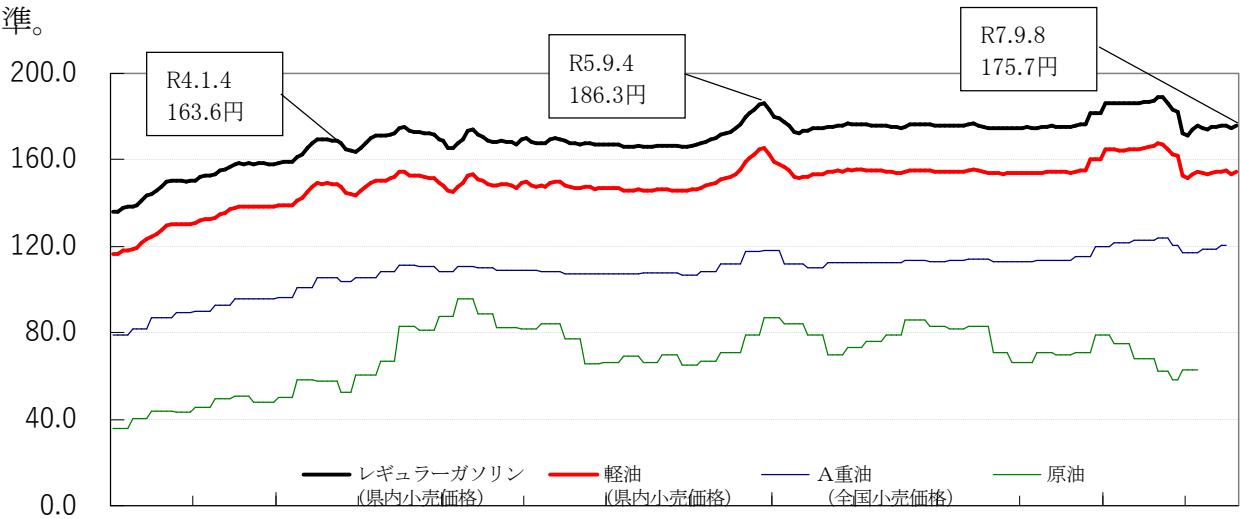
業種	産業動向
樂器	<p>8月の県内楽器メーカーの販売金額は、40億7,182万円（前年同月比20.5%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが23億4,034万円（同27.6%減）で、12か月連続で前年実績を下回った。国内向けが17億3,148万円（同8.3%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>ピアノ生産台数は1,581台（同8.6%減）で、26か月連続で前年実績を下回った。機種別では、アップライトピアノが875台（同9.7%減）、グランドピアノが706台（同7.2%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが883台（同30.6%減）で、26か月連続で前年実績を下回り、国内向けが647台（同17.8%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>8月の紙・板紙の国内出荷高は、1,459千㌧（前年同月比5.7%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は681千㌧（同6.8%減）で、10か月連続で前年実績を下回った。板紙は778千㌧（同4.8%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、341千㌧（同5.7%減）で、10か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、142千㌧（同8.2%減）と、4か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>8月の県内生産量は、食缶類（国内向け）が842千箱（前年同月比3.1%減）で2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）が624千箱（同4.4%減）で2か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は405千箱（同4.0%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は219千箱（同1.1%増）で2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類（国内向け）は、7,368千箱（同4.3%増）で、10か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
織維	<p>8月の広幅織物の県内生産は、582千m²（前年同月比5.5%減）で、10か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、555千m²（同4.3%減）で、10か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、27千m²（同24.5%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、15千m²（同11.1%減）で、8か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家具	<p>8月の全国百貨店での家具販売額は、28億9,773万円（前年同月比14.5%減）と5か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、567億9,502万円（同7.8%減）と3ヶ月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業種	産業動向
小売業	<p>8月の県内百貨店・スーパーの販売額は、40,744百万円（既存店前年同月比1.1%増）と前年同月の実績を上回った。品目別に見ると、衣料品、身の回り品、家庭用品で前年同月の実績を下回ったが、飲食料品、その他の商品及び食堂・喫茶の売上げが前年同月と比較して増加した。</p> <p>西部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数は増加した。夏休み期間であったため、家族連れ世帯の需要に伴い、雑貨や飲食店等の売上げが好調だった。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、天候が良かったことや前年同月と比較して日曜日が1日多かったことにより、売上げ及び来客数が増加した。金の催事が盛況だったことから雑貨（化粧品、美術・宝飾・貴金属等）の売上げが好調だった。</p> <p>伊豆の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数は減少した。特に青果は前年より相場が安く、猛暑により品質が悪かつたため、売上げは不調だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観光	<p>令和7年8月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約44万人で、前年同月比14.0%増となった。</p> <p>主な要因は、夏季イベントの入込が増加したこと等によるものである。</p> <p>主要有料道路（4路線）の合計通行車両数は、約73万台となり、前年同月比6.1%増となった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＜原油高の状況について＞

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー176円/Lと、平成20年8月以来の高水準。



出典：石油情報センター、農林水産省、一般社団法人漁業経営安定化推進協会

IV データからみた県内主要産業

<二輪車>

	R 6年12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
完成車生産台数(台)	20,007	22,378	24,615	25,562	22,957	22,521	22,185	23,511	17,383
前年同月比(%)	▲19.5	▲1.6	0.0	2.4	▲9.2	4.0	0.5	2.1	▲11.5
KD輸出額(百万円)	1,763	2,311	2,376	2,342	2,276	1,962	1,889	1,404	1,164
前年同月比(%)	3.4	100.4	72.6	102.1	106.4	199.3	163.8	48.3	62.2

<楽器>

	R 6年12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
生産総額(百万円)	2,851	2,724	2,749	2,895	3,736	3,338	3,624	3,822	2,780
前年同月比(%)	▲23.3	▲6.5	▲22.5	▲19.0	7.7	▲4.7	8.5	5.6	6.1

<缶詰>

	R 6年12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
食缶生産高(千ケース)	968	915	876	895	965	924	1,014	999	842
前年同月比(%)	4.0	7.1	▲3.7	1.7	3.5	▲0.1	3.5	▲4.6	▲3.1
うち水産缶詰(%)	6.8	12.2	▲6.0	5.4	2.7	▲0.5	3.7	▲4.5	▲4.5
農畜産缶詰(%)	▲2.8	▲6.1	3.0	▲8.6	5.7	1.2	2.9	▲4.7	▲4.7
飲料缶生産高(千ケース)	5,863	4,736	5,744	6,776	6,517	6,688	6,643	7,109	7,109
前年同月比(%)	▲7.8	▲10.5	▲6.3	▲6.3	▲3.4	▲9.2	▲8.0	▲6.4	▲6.4

<繊維>

	R 6年12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
広幅織物(千m ²)	895	881	840	860	771	621	647	559	582
前年同月比(%)	▲10.4	▲10.3	▲9.9	▲7.3	▲14.8	▲17.2	▲9.8	▲10.7	▲5.5
小幅織物(千m ²)	20	15	15	16	17	16	16	16	15
前年同月比(%)	6.6	▲2.7	▲4.7	▲11.0	▲3.5	▲3.0	▲10.3	▲11.8	▲11.1

<観光>

	R 6年12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
延べ宿泊者数(千人泊)	2,014	1,636	1,638	2,019	1,724	1,846	1,448	1,893	2,502
前年同月比(%)	8.3	0.6	▲6.3	▲3.2	▲3.9	2.0	▲6.4	▲7.9	▲3.1
観光施設(10施設)入込(千人)	322	308	298	460	525	512	309	301	444
前年同月比(%)	▲3.6	25.6	28.5	27.5	▲17.3	▲34.6	5.4	1.5	14.0
有料道路(4路線)通行量(千台)	630	566	546	658	582	597	561	632	729
前年同月比(%)	2.7	0.5	▲5.0	1.9	▲11.9	▲14.4	▲3.8	0.9	6.1

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは
静岡県公式ホームページの「統計センターしづおか」で公表しています。

<https://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	https://www.ejcs.co.jp/report/public-works/prefecture/
設備投資	日本銀行静岡支店	https://www3.boj.or.jp/shizuoka/index.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	https://www.boj.or.jp/statistics/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	https://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	https://www.mof.go.jp/statistics/
国際収支		
機械受注	内閣府	https://www.esri.cao.go.jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/toukei/
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
令和7年10月号 通巻594号

発行 静岡県経済産業部
令和7年10月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <https://www.pref.shizuokajp/kensei/introduction/soshiki/1002123/1041026/1025441.html>